

品番：APG-5000

グロウジェクター® Duo 取扱説明書



- グロウジェクター Duoは、グロウジェクト皮下注 12mg、または、グロウジェクト皮下注 6mg 及び JIS T 3226-2 に準拠した A 型専用注射針を取り付けて使用する、皮下投与用の成長ホルモン専用電動式医薬品注入器です。
- ご使用に際しては、医師等の指示に従い、必ずこの取扱説明書をよく読み、正しく安全にお使いください。また“安全上のご注意”（3～9 ページ）も必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

グロウジェクターは、JCR ファーマ株式会社の登録商標です。

取扱説明書品番：LDCL080600-3
P1222-3103



LDCL080600-3

お使いになる前に

操作方法

トレーニングモード

安全上のご注意

その他

もくじ

安全上のご注意

安全上のご注意 (必ずお守りください)	3
禁忌・禁止	5
使用上の注意	6
その他の注意	8

お使いになる前に

セット内容	10
注射する前に用意するもの	11
各部の名称と働き (操作概要)	12
グロウジェクター Duo	12
専用充電台	13
専用AC/DCアダプター	13
冷蔵保存ケース	14
A型専用注射針	14
カバー (注射針の取付け・取外し)	15
ホーム画面概要とボタン操作	16
ホーム画面	16
お知らせ表示画面	16
注射画面	17
操作概要	18
初回注射	18
2回目以降の注射	18
初期設定	19
充電方法・冷蔵保存	20
充電方法	20
冷蔵保存	21

操作方法

注射	22
空気抜き	24
薬の交換	26
メニュー	27
モード選択	30
ドアオープン	31
音量設定	32
日時設定	33
注射量設定	34
保持時間設定	35
注射速度設定	36
使用製剤設定 (6 mg ⇄ 12 mg)	37
Bluetooth®	38
注射履歴	41
注射量変更履歴	42
本体耐用期限	43

トレーニングモード

注射	44
空気抜き	46


その他


本製品について	48
保守点検	48
保管	49
耐用期間	49
EMC	50
仕様	52
注射量の自動計算	53
お知らせ表示	54
Q&A	60
ライセンス情報	63
グロウジェクターお客様相談窓口 ... 裏表紙	


安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。



- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(図記号は例です)

  してはいけない内容です。

  実行しなければならない内容です。

危険



禁止

- 内蔵の充電は、本製品専用の充電式電池です。解体し本製品以外に使用しない。
- 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。
発熱・発火・破裂の原因となります。



禁止

- 専用充電台は本製品専用の充電器です。本製品以外の充電には使用しない。
電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。
- 付属の専用AC/DCアダプター以外は使用しない。
火災・感電の原因となります。

警告



禁止

●接続端子・DCコード・アダプター本体・電源プラグを破損するようなことはしない。
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●内蔵の充電電池から電解液が漏れている場合には電解液に触れない。
電解液が目に入ったとき失明のおそれがあります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない。
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

●専用充電台の中に、硬貨や指輪などの金属物を入れない。
感電・ショート・火災の原因となります。



ぬれ手禁止

●ぬれた手で、専用AC/DCアダプターの抜き差しはしない。
感電の原因となります。



接触禁止

●雷がなりだしたら、コンセントに接続している専用AC/DCアダプター、専用充電台、本製品には触れない。
感電の原因となります。



水ぬれ禁止

●ぬらさない。
発火・感電の原因となります。



分解禁止

●絶対に分解や修理・改造をしない。
内部にさわると感電の原因となります。



必ず守る

●長期間使用しないときは、アダプター本体をコンセントから抜く。

●電源プラグのほこり等は定期的にとる。
電源プラグにほこり等がたまると、湿度等で絶縁不良となり、火災の原因となります。
アダプター本体を抜き、電源プラグを乾いた布で拭いてください。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。
傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



電源プラグを抜く

●煙が出たり、こげ臭いにおいや音がしたりしたら、アダプター本体をコンセントから抜く。

●内部に水や異物が入ったときや外装ケースが破損したときは、使用をやめアダプター本体をコンセントから抜く。
そのまま使用すると、ショート・発火の原因となります。

⚠ 注意



禁止

●本製品や専用充電台を不安定な場所に置かない。落下などにより、けがの原因となります。



必ず守る

●コンセントから抜くときは必ずアダプター本体を持って抜く。DCコードが破損すると、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

●お手入れの際は、本製品の電源を切り、安全のためアダプター本体をコンセントから抜く。感電の原因となります。

禁忌・禁止

- (1) グロウジェクター Duoは、グロウジェクト皮下注12mg、または、グロウジェクト皮下注6mg（以下薬という）以外には使用しないでください。
- (2) グロウジェクター Duoは皮下投与以外の目的には使用しないでください。
- (3) グロウジェクター Duo、A型専用注射針及び薬は他の人と共用しないでください。（付着した血液により感染症の原因となるおそれがあります）
- (4) 一度使用したA型専用注射針は再使用しないでください。毎回新しいA型専用注射針を使用してください。（付着した血液により感染症の原因となるおそれがあります）
- (5) グロウジェクター Duoは、薬及び医師等の指示によるA型専用注射針との組み合わせ以外では使用しないでください。（医師等の指示以外の薬及び注射針を使用した場合の精度は確認していません）
- (6) グロウジェクター Duoに薬を取り付けた状態で、一般的な生活環境（温度：10℃～38℃）に放置しないでください。薬が使用できなくなる可能性がありますので、使用後は速やかに冷蔵保存ケースに入れて、必ず冷蔵庫に保存してください。
- (7) 電子レンジ等の加熱機器で加熱しないでください。

禁忌・禁止

- (8) グロウジェクター Duoは、他の機器に隣接させて、または積み重ねて使用しないでください。正しく注射できないおそれがあります。
- (9) グロウジェクター Duoは、携帯形RF通信機器(アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む)から30 cmの範囲内で使用しないでください。近づけた場合、正しく注射できないおそれがあります。
- (10) グロウジェクター Duoは、AC電源ケーブルから15 cmの範囲内で使用しないでください。近づけた場合、正しく注射できないおそれがあります。

使用上の注意

- (1) 必ずこの取扱説明書を熟読してご使用ください。
- (2) ご使用や注射に関しては、必ず医師等の指示に従ってください。
- (3) 注射量の設定及び変更に関しては、必ず医師等の指示に従ってください。
- (4) 破損した、または異常が見られたグロウジェクター Duoは使用しないでください。
- (5) グロウジェクター Duoを操作するときは、針先をのぞきこんだり、人のいる方向に向けたりしないでください。(薬液が目に入るおそれがあります)
- (6) グロウジェクター Duoの取扱い(操作)が容易でない方(小児や弱視の方等)は、グロウジェクター Duoの操作方法の訓練を受けた方の手助けを受けてください。
- (7) グロウジェクター DuoとA型専用注射針を取り付けた薬の使用中に薬液が漏れ出た等の不具合が認められた場合には、新しいA型専用注射針と薬に取り替えてください。(正しく注射できないおそれがあります)
- (8) 取扱い時は、針先に直接触れないでください。(針刺し事故になるおそれがあります)

使用上の注意

- (9) ご使用時は、屋内で清潔且つ画面の見える環境にて行ってください。
- (10) A型専用注射針の取付け・取外し時は、必ずカバーを開けてから実施してください。取外し時は、針キャップを取り付けないでください。(針刺し事故になるおそれがあります)
- (11) 使用後のA型専用注射針と消毒用アルコール綿は、医師等の指示に従って安全に廃棄してください。(付着した血液により感染症の原因となるおそれがあります)
- (12) A型専用注射針の保護シールが破損している場合は使用しないでください。(感染症の原因となるおそれがあります)
- (13) 曲がった注射針は使用しないでください。(曲がった状態で、または曲がった注射針を元に戻してから注射すると、針が折れ、体内に残留してしまうおそれがあります)
- (14) 葉がひび割れ等破損していたり、葉の中に浮遊物がみられたりした場合には使用しないでください。
- (15) 葉の使用期限は、葉交換後最初の空気抜きを行った日から35日です。35日を過ぎると通知画面が表示され使用できません。
- (16) 葉のラベルに記載された使用期限を過ぎたものは使用しないでください。
- (17) 使用中の葉以外は取り付けないでください。(葉を交換するときを除く)誤って他の葉を取り付けると、薬液が漏れ出て本体の周辺がぬれたり、注射量が不正確になったりするおそれがあります。
- (18) 注射量、ディスプレイの表示内容または操作等に疑問が生じたら使用せず、医師等に相談してください。
- (19) 乗物内では、振動による誤動作、薬液の飛散、針刺し事故などの可能性、及びグロウジェクター Duoによる乗物への電磁的な影響が出る可能性がありますので、使用しないでください。
- (20) 高酸素濃度環境下で使用しないでください。
- (21) エアロゾルや可燃性ガスを含むスプレーの近くで使用しないでください。

その他の注意

- (1) 落としたり、乱暴に扱ったりしないでください。破損することがあります。
- (2) カバーまたはドアを開けているときに、それらを無理に押ししたり本体の分解や改造をしたりしないでください。本体が破損することがあります。
- (3) グロウジェクター Duoの耐用期間は、初期設定の日から2年間です。交換時期が近づいて来ましたら医師等に相談してください。
- (4) 耐用期間が過ぎた場合や、使用を中止する場合は、専用充電台や専用AC/DCアダプター等を含めグロウジェクター Duo一式を医療機関に返却する等、医師等の指示に従ってください。
- (5) 電子レンジ、携帯電話等、電磁波が発生する電子機器の近くでは操作しないでください。内部の装置が正常に動作しないおそれがあります。
- (6) グロウジェクター Duo、専用充電台及び専用AC/DCアダプターを水等の液体でぬらさないでください。空気抜きや注射により、漏れた薬液は、清潔な乾いた布等で拭き取ってください。
- (7) 洗浄や消毒のために、水洗いをしたり、消毒薬等の液体に浸したりしないでください。本体内部に液体が浸入した場合、故障するおそれがあります。
- (8) グロウジェクター Duoは日本国内専用のため、海外では使用しないでください。
- (9) グロウジェクター Duoが正常な動作をしなくなった場合は、使用を中止し、医師等に相談してください。
- (10) 子どもや他の人の手の届かない場所で保管してください。
- (11) 使用していない薬は、包装箱に入れたままの状態冷蔵庫の凍結しない場所で保存してください。
- (12) 注射後の薬は、グロウジェクター Duoに取り付けたまま専用の冷蔵保存ケースに入れて、冷蔵庫の凍結しない場所で保存してください。
- (13) 充電時など一時的に取り出した薬は、冷蔵保存ケースに入れて冷蔵庫の凍結しない場所で保存してください。

その他の注意

- (14) 冷蔵保存ケースから取り出して使用するとき、グロウジェクター Duoを水等の液体で濡らさないでください。故障するおそれがあります。
- (15) 薬を取り付けていないグロウジェクター Duoは、冷蔵保存ケースに入れて一般的な生活環境（温度：10℃～38℃、但し10℃～35℃以外では充電できません）の清潔な場所で保管してください。直射日光の当たる場所や車内等の高温になるおそれのある場所、冷凍庫や凍結するおそれのある低温の場所、ほこりや湯気が当たる場所では保管しないでください。
- (16) 注射後、使い終わったA型専用注射針を取り付けたままで保存しないでください。
- (17) 次の使用に支障のないように、グロウジェクター Duoは必ず清潔にしておいてください。汚れたときは、“保守点検”（48ページ）に従いお手入れを行ってください。
- (18) “保守点検”（48ページ）に従い保守・点検を行ってください。
- (19) 薬液が目や皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。洗い流した後、違和感等があれば医師等に相談してください。
- (20) 初めてお使いになる前には、“充電方法”（20ページ）をご参照のうえ、充電してください。

ご不明な点は、

“グロウジェクトお客様相談窓口”

（フリーコール：0800-888-4001）（裏表紙）

までお問い合わせください。

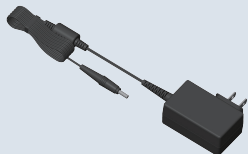
セット内容

本製品がお手元に届きましたら、セット内容を確認してください。☑

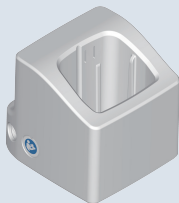
グロウジェクター Duo … 1



専用AC/DCアダプター … 1
(型番：MDS-005AAS05 B)



専用充電台 … 1



冷蔵保存ケース … 1



取扱説明書(本書) … 1



お使いになる前に

操作方法

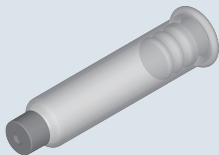
トレーニングモード

安全上のご注意

その他

注射する前に用意するもの

グロウジェクト皮下注 12mg または グロウジェクト皮下注 6mg
※本文中では薬と記載します。



A型専用注射針

※本文中では注射針と記載します。



● 医師等の指示によるA型専用注射針を使用してください。

消毒用アルコール綿



各部の名称と働き（操作概要）

お使いになる前に

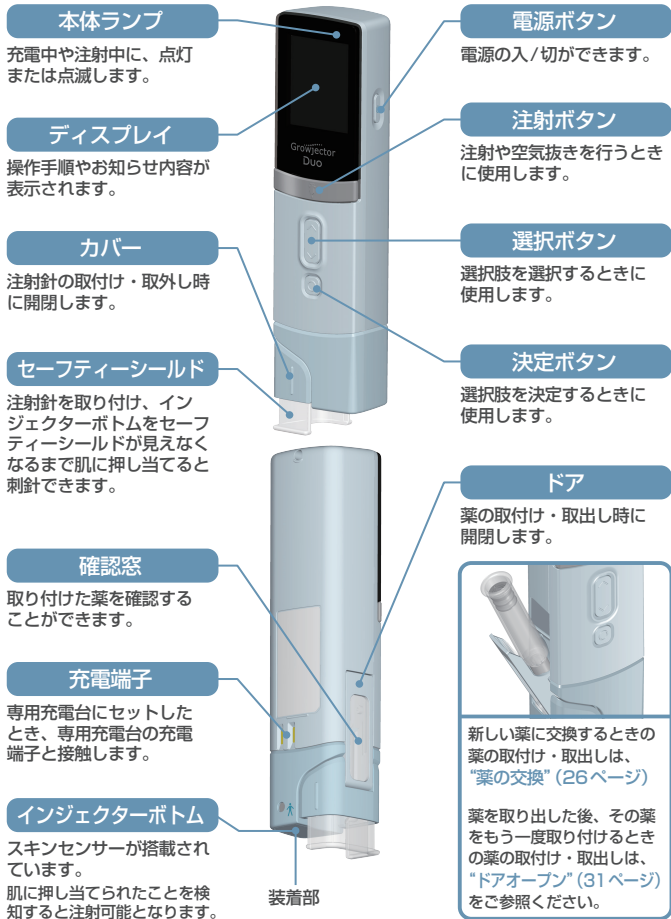
操作方法

トレーニングモード

安全上のご注意

その他

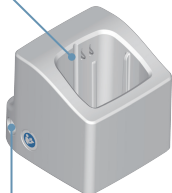
グロウジェクター Duo



専用充電台

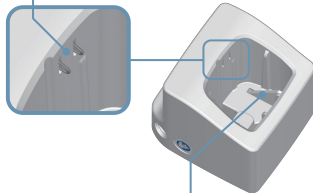
本体収容スペース

充電するときに、
本体をセットします。



充電端子

本体をセットしたとき、レバーによって
押し出され、本体の充電端子と接触します。



専用 AC/DC アダプター接続端子口

専用 AC/DC アダプターの接続端子を接続します。

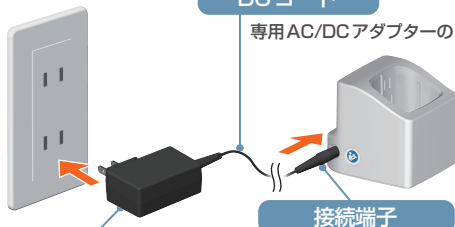
レバー

充電端子を押し出すための
レバーです。

専用 AC/DC アダプター

DC コード

専用 AC/DC アダプターのコードです。



アダプター本体

充電するときに、
コンセントに接続します。

接続端子

専用充電台の専用 AC/DC アダプター
接続端子口に接続します。

- 付属の専用 AC/DC アダプター以外は使用しないでください。

各部の名称と働き（操作概要）

お使いになる前に

操作方法

トレーニングモード

安全上のご注意

その他

冷蔵保存ケース



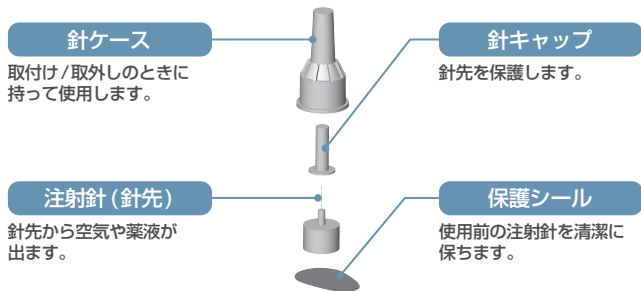
本体保存時に使用します。

本体に薬が取り付けられているときに、本体をこのケースに入れて、ケースごと冷蔵庫に保存します。

- 冷蔵庫に保存するときは、凍結しないように十分注意してください。

A型専用注射針

※ 使用する注射針により名称が異なる場合があります。



使用直前に保護シールをはがして使用してください。



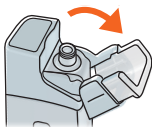
- 注射針に触れないように十分注意してください。
- 保護シールが破損している場合は使用しないでください。

カバー（注射針の取付け・取外し）

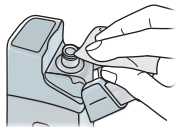
- 針刺し事故に十分気を付けてください。
"安全上のご注意" (3～9ページ) も必ずお読みください。

STEP 1 消毒

1 カバーを開ける



2 薬の先端のゴム栓を消毒する

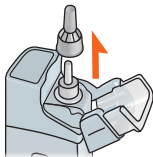


STEP 2 注射針の取付け

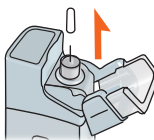
1 注射針を
まっすぐに
取り付ける



2 針ケースを
取り外す



3 針キャップを
取り外す

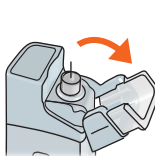


4 カバーを
閉める

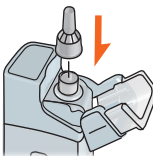


STEP 3 注射針の取外し

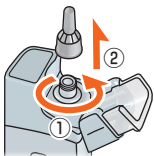
1 カバーを開ける



2 針ケースを
取り付ける



3 注射針を
取り外す



4 カバーを
閉める



ホーム画面概要とボタン操作

ディスプレイに操作手順やお知らせ内容が表示されます。

- 本体を操作するときは、ディスプレイに表示された文字の方向に合わせて持ってください。
- 操作手順で使用するボタンが表示され、使用しないボタンは非表示になります。また、現在選択されている項目は緑色で表示されます。

ホーム画面

Bluetoothマーク



「注射」

22ページをご参照ください。



「空気抜き」

24ページをご参照ください。



「薬の交換」

26ページをご参照ください。



「メニュー」

各種設定や設定の確認を行います。
27ページをご参照ください。

Bluetoothマーク点滅中は、「めろん日記[®]」との通信が可能です。“Bluetooth” (38ページ)をご参照ください。



お知らせ表示画面

お知らせ内容がディスプレイに表示されます。



「内容と対応」については、「お知らせ表示」(54ページ)をご参照ください。
正しく操作しても動作しない場合は、フリーコール：0800-888-4001 (裏表紙) までご連絡ください。

注射画面

(トレーニングモードの画面例)





●薬の残量

薬の残り注射回数を示しています。
残り0回は赤色で表示されます。

残り 0回

●電池残量マーク

電池の残量を示しています。

50%を切ったときに黄色 ()、
10%を切ったときに赤色 () で
表示されます。

●Bluetoothマーク

Bluetooth接続状態を示しています。

●決定ボタンマーク

【決定ボタン】で選択した項目を
決定(完了)することができます。

●選択ボタン下マーク

【選択ボタン下】で項目を選択する
ことができます。

操作概要

注射は下記のフローで行います。アイコンが示す操作の詳細は、記載のページをご参照ください。

● 90秒間ボタン操作が行われなかった場合、自動的に電源が切れます。

初回注射

薬の交換

26ページ

空気抜き

24ページ

注射

22ページ

データ通信

38ページ

冷蔵保存

21ページ



2回目以降の注射



初期設定

側面の【電源ボタン】を長押しして電源を入れます。

初期設定画面が表示されますので、医師等の指示に従い、使用製剤、注射量、Bluetoothの設定を行ってください。

STEP 1 注射設定

1 使用製剤を設定する



▶ 2 注射量を設定する



- 必ず医師等の指示に従って使用製剤と注射量の設定を行ってください。
- 必ず設定した使用製剤を取り付けてください。

STEP 2 Bluetooth®

「めろん日記®」との連携を行う場合はペアリングを行う

- 詳細設定は、「ペアリング」のSTEP2 (38ページ)と「めろん日記®」のアプリケーションマニュアルをご参照ください。

STEP 3 初期設定完了

初期設定が完了すると、自動でホーム画面に切り替わります。



充電方法・冷蔵保存

お使いになる前に

操作方法

トレーニングモード

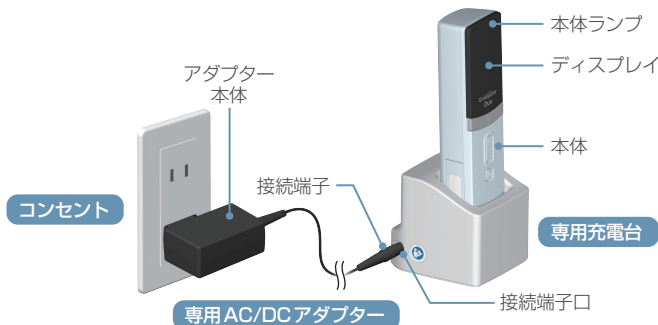
安全上のご注意

その他

充電方法

初めてお使いになる前、及び電池残量が少なくなった場合（17ページの“電池残量マーク”参照）に充電してください。薬の交換のタイミングで充電することをお勧めします。

●専用充電台は、安定した場所に置いてください。



STEP 1 薬の取出し

“ドアオープン”（31ページ）または“薬の交換”
STEP1（26ページ）に従って薬を取り出す

●電池残量は、ディスプレイ上部で確認できます。



STEP 2 接続

- 1 専用AC/DCアダプターの接続端子を
専用充電台の接続端子口に接続する
- 2 アダプター本体を
コンセントに接続する

STEP 3 本体セット

- 1 本体の電源を切る
- 2 ディスプレイを正面に向けて
本体収容スペースにセットする

● 本体ランプが点灯（黄緑色）することを必ず確認してください。
充電が完了すると本体ランプは消灯します。
すでに充分充電されている場合は、すぐに消灯します。

注意

- 注射針を付けたままの状態、充電台に置かないでください。
- アダプター本体をコンセントから抜く操作の妨げにならない場所で使用してください。
- 充電の指示が表示された場合は、薬を取り出してから充電してください。この場合、ホーム画面で「メニュー」→「一般」→「ドアオープン」を選択して取り出してください。
※「薬の交換」にて取り出すと、使用中の薬が使えなくなります。
- 充電は 10℃～35℃で行ってください。それ以外の温度では充電できない場合があります。(充電できない場合は本体ランプが消灯します)
- 「充電不足です」が表示された状態から満充電になるまでにおよそ3時間、注射1回分の充電におよそ10分かかります。3時間以上経っても本体ランプが消灯しない場合は、部屋の温度が充電時の使用温度(10℃～35℃)であることを確認してください。

冷蔵保存

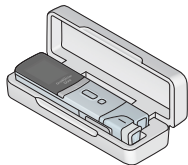
- 注射が終わったら必ず冷蔵保存してください。

STEP 1 電源オフ

本体の電源がオフになっていることを確認する
電源がオン状態の場合、【電源ボタン】を長押ししてオフにする

STEP 2 冷蔵庫へ保存

本体を冷蔵保存ケースに入れて、
冷蔵庫へ保存する



- 必ず注射針を外してから冷蔵保存ケースに入れてください。
- 開閉時に指を挟みこまないように注意してください。

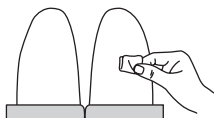
注射

本体の準備を完了した後、注射を行います。注射場所は、「**注射場所の選び方(参考)**」(23ページ)をご参照ください。

- 薬は、注射をするおおよそ30分前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻してください。

STEP 1 準備

- 1 注射場所を消毒用アルコール綿で拭く



太ももの場合

- ▶ 2 ホーム画面から「注射」を選択する



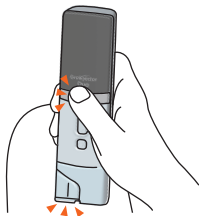
- ▶ ディスプレイが切り替わります。



- 注射が終わるまで注射針と注射場所には触れないでください。
- 「注射できます」画面でインジェクターボトムに触れると、STEP2に遷移します。

STEP 2 注射

刺針し、【注射ボタン】を押す



スキンセンサー検知状態



- ▶ 薬液が自動で注入されます。



- 注射場所にインジェクターボトムを垂直に押し当ててください。その際、強く押し当てすぎないようにしてください。
- 注射中は本体を動かさないでください。
- 注射動作中、【注射ボタン】を押し続ける必要はありません。
- 【注射ボタン】を押した後に刺針して注射することもできます。

STEP 3 注射完了

注射が完了すると、自動的にホーム画面に戻ります。

▶ 1 本体を注射場所から垂直に離す

▶ 2 注射場所を消毒用アルコール綿で軽く押さえる



- 注射後、針先や注射した場所に少量の薬液が付いていることがありますが、注射量には影響ありません。

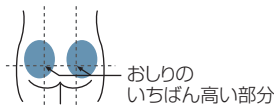
■ 注射場所の選び方 (参考)

- 医師等の指示に従ってください。
- 同じ部位であっても毎回場所を変えて注射するようにしてください。

 : 注射する場所

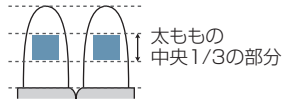
おしり

(子どもをうつ伏せにして注射します)



太もも

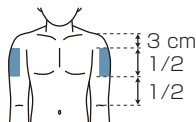
(いすに座って注射します)



おなか



腕



空気抜き

葉の中にある空気（気泡）を抜きます。

2回目以降の注射の場合は、空気抜きは不要です。

- 注射針が露出していますので、針刺し事故に十分気を付けてください。
- セーフティシールドを上からのぞきこまないでください。薬液が出てきます。

STEP 1 準備

1 「空気抜き」を選択する



ホーム画面

▶ ディスプレイが切り替わります。



空気抜き開始

▶ 2 針先を上に向ける



- ホーム画面に戻りたいときは、空気抜き開始画面にて【選択ボタン】を押してください。

STEP 2 空気抜き

1 針先を上に向けたまま、【注射ボタン】を長押しする 空気抜きが開始されます。

▶ 2 針先から薬液が出るのを確認する



- 薬液が出ないときは、STEP2を繰り返し行い、薬液が出ることを確認してください。（最大8回まで行うことができます）

STEP 3 空気抜き完了

ディスプレイに「完了」が表示されます。



空気抜き完了

▶ **【決定ボタン】**を押す
空気抜きが完了し、
ホーム画面に戻ります。



- 薬液が目や皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。洗い流した後、違和感等があれば医師等に相談してください。
- 空気抜きが不十分な場合、注射量に影響することがあります。
- 注射針側を上に向けて空気抜きを行わないと、空気がうまく抜けません。
- 薬液が注射針取付け部のまわりに付着した場合は、注射が終わって注射針を取り外した後、清潔な乾いた布等で拭き取ってください。



薬の交換

初回の薬の取付け時、薬の残量が無くなったとき、または薬に問題がある場合に薬の交換を行います。

- 注射針を取り外して行ってください。
- 薬の一時的な取出し時には「薬の交換」を選択しないでください。使用中の薬が使えなくなります。
- 薬の取付け後にディスプレイに「準備中…」が表示されている時は、針の取付けを行わないでください。針先から薬液が飛び出すおそれがあります。

STEP 1 薬の取出し

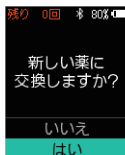
「残り0回」と表示されます。



▶ 1 「薬の交換」を選択する



▶ 2 「はい」を選択する

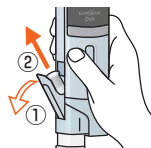


▶ 3 薬を取り出す



▽
ドアが自動的に開きます。

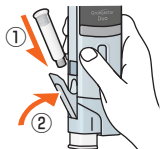
- ドアを手でふさがらないでください。



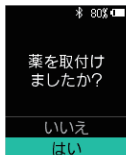
STEP 2 薬の取付け

▶ 1 新しい薬を取り付けてドアを閉める

- カチッと音がするまで押し込んでください。



▶ 2 「はい」を選択する



▶ 薬の取付けが完了し、ホーム画面に戻ります。



- ドアオープン状態で、セーフティーシールドを押し込まないでください。機器が破損するおそれがあります。

メニュー

メニューの操作により、機器の設定、注射関連の設定、履歴確認等を行うことができます。

STEP 1 電源オン

側面の【電源ボタン】を長押しして電源を入れる

STEP 2 メニュー選択

1 「メニュー」を選択する



ホーム画面

2 【選択ボタン】でメニュー項目を選択し【決定ボタン】を押す



● 前の画面に戻りたいときは、「戻る」を選択します。

メニュー項目についての内容は、28～29ページをご参照ください。

メニュー

お使いになる前に

操作方法

トレーニングモード

安全上のご注意

その他

メニュー		内容と対応
一般	モード選択	ガイドンスモードを選択することができます。 “モード選択” (30ページ) をご参照ください。
	ドアオープン	薬を一時的に取り出すことができます。 “ドアオープン” (31ページ) をご参照ください。
	音量	操作音、注射中の音の音量を変更することができます。 “音量設定” (32ページ) をご参照ください。
	日時	日時設定をすることができます。 “日時設定” (33ページ) をご参照ください。
注射設定*	注射量	注射量を変更することができます。 “注射量設定” (34ページ) をご参照ください。
	保持時間	注射による薬液の注入が終了してから、抜針が可能になるまでの時間を変更することができます。 “保持時間設定” (35ページ) をご参照ください。
	注射速度	注射時の薬液の注入速度を変更することができます。 “注射速度設定” (36ページ) をご参照ください。
	使用製剤	使用する薬の種類を変更することができます。 “使用製剤設定 (6 mg ⇄ 12 mg)” (37ページ) をご参照ください。

※ 必ず医師等の指示に従ってください。

メニュー		内容と対応
Bluetooth	ペアリング	スマートフォンとBluetooth接続することによって、専用アプリ「めろん日記 [®] 」に注射履歴を転送することができます。 “ペアリング” (38ページ) をご参照ください。
	初期化	本体と接続していたスマートフォンを変更した等の理由で、本体のBluetooth接続を削除する場合に使用します。 “初期化” (39ページ) をご参照ください。
	法的情報	技適マークと認証番号を確認することができます。 “法的情報” (40ページ) をご参照ください。
履歴・情報	注射履歴	注射履歴を確認することができます。 “注射履歴” (41ページ) をご参照ください。
	注射量 変更履歴	設定した1回注射量 (mg) の変更履歴が表示されます。 “注射量変更履歴” (42ページ) をご参照ください。
	本体耐用期限	本体の耐用期限を確認することができます。 “本体耐用期限” (43ページ) をご参照ください。
戻る	メニュー画面を終了することができます。	

モード選択

ガイダンスモード（ファストまたはトレーニング）を選択することができます。

STEP 1 モード選択

ホーム画面で以下の順に選択する

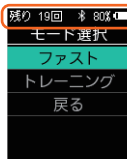
「メニュー」 ▶ 「一般」 ▶ 「モード選択」



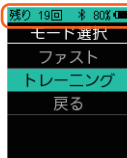
STEP 2 モード決定

- 1 「ファスト」または「トレーニング」を選択する
- ▶ 2 「決定」を選択する

「ファストモード」
通常のモードです。



「トレーニングモード」
操作手順がディスプレイに表示されるモードです。表示される手順を確認しながら操作できます。(44ページ)



- ディスプレイ上部のバーの色で、現在のモードを確認することができます。

黒色：ファストモード

緑色：トレーニングモード



ドアオープン

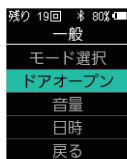
本体の充電時に薬を取り出す場合、または薬を一時的に取り出して薬の状態を確認する場合に使用します。

- 注射針を取り外して行ってください。
- 薬の取付け後にディスプレイに「準備中…」が表示されている時は、針の取付けを行わないでください。針先から薬液が飛び出すおそれがあります。

STEP 1 メニュー選択

ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「一般」 ▶ 「ドアオープン」



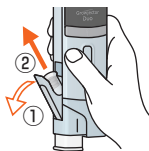
STEP 2 薬を確認する

ドアが自動的に開きます。

- ドアを手でふさがらないでください。



薬を取り出し、確認する



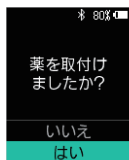
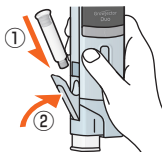
STEP 3 ドアを閉める

- 充電時は、薬を取り付けしないでください。一時的に取り出した薬に問題がなければ再度取り付けてください。

1

ドアを閉める

- カチッと音がするまで押し込んでください。



2

薬の取付けによって「はい」または「いいえ」を選択する

完了するとSTEP1の画面に戻ります。

- 薬に問題がある場合は、使用せずに交換してください。
- 新しい薬に交換する場合は、「薬の交換」(26ページ)に従ってください。

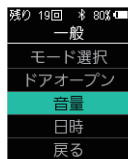
音量設定

操作音や注射時の音を、4段階（大・中・小・消音）で設定することができます。消音にしても、エラー時の通知音を消すことはできません。

STEP 1 メニュー選択

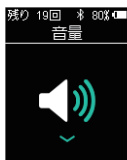
ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「一般」 ▶ 「音量」



STEP 2 音量変更

設定されている音量が表示されます。



【選択ボタン】で音量を変更する
(大・中・小・消音)

STEP 3 変更完了



【決定ボタン】を押す ▶ 音量の変更が完了し、STEP1の画面に戻ります。



日時設定

プロジェクター Duoは日時が設定されています。
 日時が大きすぎる場合は、再設定をすることができます。
 再設定(変更)をしても、本体の耐用期限や薬の使用期限は変わりません。

STEP 1 メニュー選択

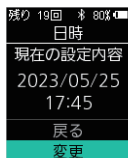
ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「一般」 ▶ 「日時」



STEP 2 日時変更

設定されている日時が表示されます。



1 「変更」を選択する

2 画面に従って、年、月、日、時、分を設定する



STEP 3 変更完了



「決定」を選択する

▶ 日時の変更が完了し、STEP1の画面に戻ります。



メニュー

お使いになる前に

操作方法

トレーニングモード

安全上のご注意

その他

注射量設定

注射量の設定を変更することができます。

● 必ず医師等の指示に従ってください。

STEP 1 メニュー選択

ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「注射設定」 ▶ 「注射量」



STEP 2 注射量変更

設定されている注射量が表示されます。

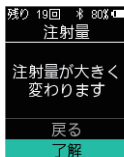


1
【選択ボタン】で
注射量を変更する



2
【決定ボタン】
を押す

※注射量の変更が、現在の設定値から2倍を超える場合、または 1/2以下になる場合、右の画面で「了解」を選択してください。



STEP 3 変更完了



「決定」を選択する ▶ 注射量の変更が完了し、STEP1の画面に戻ります。

● キャンセルしたいときは、「キャンセル」を選択してください。



保持時間設定

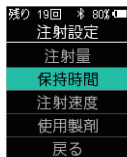
注射による薬液の注入が終了してから、抜針するまでの時間（保持時間）を変更することができます。

● **必ず医師等の指示に従ってください。**

STEP 1 メニュー選択

ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「注射設定」 ▶ 「保持時間」



STEP 2 保持時間変更

設定されている保持時間が表示されます。

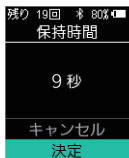


1
【選択ボタン】で
保持時間を変更する
(6秒～10秒)



2
【決定ボタン】
を押す

STEP 3 変更完了



「決定」を選択する ▶ 保持時間の変更が完了し、STEP1の画面に戻ります。

● キャンセルしたいときは、「キャンセル」を選択してください。



注射速度設定

注射時の薬の注入速度を変更することができます。

- 必ず医師等の指示に従ってください。

STEP 1 メニュー選択

ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「注射設定」 ▶ 「注射速度」



STEP 2 注射速度変更

設定されている注射速度が表示されます。



- 1
【選択ボタン】で
注射速度を変更する
(低・中・高)



- 2
【決定ボタン】
を押す

STEP 3 変更完了



- 「決定」を
選択する ▶ 注射速度の変更が完了し、
STEP1 の画面に戻ります。

- キャンセルしたいときは、「キャンセル」を選択してください。



使用製剤設定 (6 mg ⇔ 12 mg)

使用する薬の種類を変更することができます。設定を変更すると自動でドアが開き、使用中の薬は使用できなくなります。

● **必ず医師等の指示に従ってください。**

STEP 1 メニュー選択

ホーム画面で以下の順に選択する

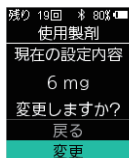
「メニュー」 ▶ 「注射設定」 ▶ 「使用製剤」

※この後、「医師の指示に従ってください」とメッセージが表示されますので、確認し「了解」を選択してください。



STEP 2 使用製剤変更

設定されている薬の種類が表示されます。

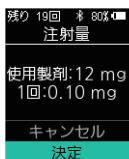


1
メッセージを確認しながら「変更」→「決定」→「了解」の順に選択する

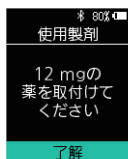
2
注射量を設定する
(34ページ参照)



STEP 3 変更完了



1
「決定」を選択する



2
「了解」を選択し、薬を取り付ける
(26ページ参照)

完了すると、STEP1の画面に戻ります。



Bluetooth®

本体をスマートフォンとペアリングすることによって、専用アプリ「めろん日記®」に注射履歴を転送することができます。お使いのスマートフォンのBluetooth機能をオンにし、「めろん日記®」で「APG-5000」を選択し、アカウント登録を完了させてください。

※「めろん日記®」のアプリケーションマニュアル【グロウジェクター Duoを登録する】も併せてご参照ください。

■ ペアリング

STEP 1 接続準備

**電源
オン時** ホーム画面で以下の順に選択する
「メニュー」▶「Bluetooth」▶「ペアリング」

**電源
オフ時** 【選択ボタン下】と【電源ボタン】を同時に長押し ▶ 「ペアリング」



STEP 2 ペアリング

本体がスマートフォンとの接続待ち状態になります。この後は、「めろん日記®」のアプリケーションマニュアルを確認しながらペアリングを行ってください。



▶ 「めろん日記®」
で表示される
指示に従う

▶ データ転送が完了すると、STEP1の画面に戻ります。(ディスプレイ上部にBluetoothマークが表示されます)

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
- めろん日記®はJCR ファーマ株式会社の登録商標です。

■ 初期化

本体と接続していたスマートフォンを変更した等の理由で、本体のBluetooth接続を削除する場合に「初期化」を行います。

※「めろん日記[®]」のアプリケーションマニュアル【スマートフォンを変更する】も併せてご参照ください。

STEP 1 メニュー選択

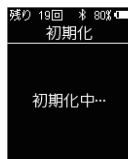
ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「Bluetooth」 ▶ 「初期化」



STEP 2 初期化開始

「初期化しますか？」で「はい」を選択する ▶ 初期化が開始されます。



STEP 3 初期化完了

初期化が完了すると、STEP1の画面に戻ります。



Bluetooth®

■ 法的情報

技適マーク（電波法令で定めている技術基準に適合している無線機であることを証明するマーク）と認証番号を確認することができます。

STEP 1 メニュー選択

ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「Bluetooth」 ▶ 「法的情報」



STEP 2 確認完了

「技適マーク」と「認証番号」が表示されます。



確認したら、**【決定ボタン】**を押す ▶ STEP 1の画面に戻ります。



注射履歴

注射履歴を確認することができます。

STEP 1 メニュー選択

ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「履歴・情報」 ▶ 「注射履歴」



STEP 2 確認

1か月分の注射履歴画面が表示されます。



【選択ボタン】で確認したい月を表示させる
(過去6か月分の履歴を確認できます)



注射を行った日(過去)



注射を行った日(当日)



注射を行っていない日

STEP 3 確認完了

確認したら、
【決定ボタン】を押す ▶ STEP 1 の画面に戻ります。



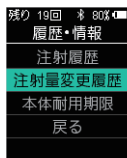
注射量変更履歴

設定した1回注射量 (mg) の変更履歴を確認することができます。

STEP 1 メニュー選択

ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「履歴・情報」 ▶ 「注射量変更履歴」



STEP 2 確認

設定した1回注射量 (mg) の変更履歴が表示されます。



【選択ボタン】で確認したい変更履歴を表示させる
(過去12回分の変更履歴を確認できます)

STEP 3 確認完了

確認したら、
【決定ボタン】を押す ▶ STEP 1 の画面に戻ります。



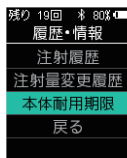
本体耐用期限

機器本体の耐用期限を確認することができます。

STEP 1 メニュー選択

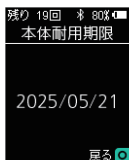
ホーム画面で以下の順に選択する

「メニュー」 ▶ 「履歴・情報」 ▶ 「本体耐用期限」



STEP 2 確認完了

本体耐用期限が表示されます。



確認したら、
【決定ボタン】を押す ▶ STEP 1 の画面に戻ります。

- グロウジェクター Duoの耐用期間は、初期設定の日から2年間です。



トレーニングモード

ディスプレイ上部のバーの色が、緑色になっていることを確認してください。

- トレーニングモードへの切替方法は **30ページ** をご参照ください。

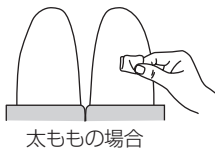


注射

本体の準備を完了した後、注射を行います。注射場所は、「**注射場所の選び方 (参考)**」(23ページ) をご参照ください。

STEP 1 準備

- 1 注射場所を消毒用アルコール綿で拭く



- ▶ 2 ホーム画面から「注射」を選択する



- ▶ 3 カバーを開ける



- 4 注射針を取り付ける



- ▶ 5 カバーを閉める



- ▷ ディスプレイが切り替わります。

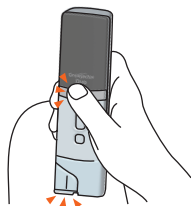


(手順は 15ページ)

- 注射が終わるまで注射針と注射場所には触れないでください。
- 「注射できます」画面でインジェクターボトムに触れると、STEP2に遷移します。

STEP 2 注射

刺針し、【注射ボタン】を押す



▶ 薬液が自動で注入されます。



スキンセンサー検知状態



- 注射場所にインジェクターボトムを垂直に押し当ててください。その際、強く押し当てすぎないようにしてください。
- 注射中は本体を動かさないでください。
- 注射動作中、【注射ボタン】を押し続ける必要はありません。
- 【注射ボタン】を押した後に刺針して注射することもできます。

STEP 3 注射完了

1 「注射完了」が表示されたら、本体を注射場所から垂直に離す



▶ 2 カバーを開ける



3 注射針を取り外す
(手順は 15 ページ)



▶ 4 カバーを閉める



- 注射後、針先や注射した場所に少量の薬液が付いていることがありますが、注射量には影響ありません。

トレーニングモード

空気抜き

葉の中にある空気（気泡）を抜きます。
2回目以降の注射の場合は、空気抜きは不要です。

- 注射針が露出していますので、針刺し事故に十分気を付けてください。
- セーフティシールドを上からのぞきこまないでください。薬液が出てきます。

STEP 1 準備

- 1 「空気抜き」を選択する
- ▶ 2 カバーを開ける
- ▶ 3 注射針を取り付ける



ホーム画面



(手順は15ページ)

- ▶ ディスプレイが切り替わります。
- ▶ 4 針先を上に向ける



空気抜き開始



- 空気抜きを中止したいときは、空気抜き開始画面にて【選択ボタン】を押してホーム画面に戻ってください。

STEP 2 空気抜き

- 1 針先を上に向けたまま、**【注射ボタン】**を長押しする
空気抜きが開始されます。
- ▶ 2 針先から薬液が出るのを確認する



- 薬液が出ない場合、STEP2を繰り返し行い薬液が出ることを確認してください。
(最大8回まで繰り返し実行可能)

STEP 3 空気抜き完了

- 1 ディスプレイに「完了」が表示されたら、**【決定ボタン】**を押す
- ▶ 2 カバーを閉める ▶ ホーム画面に戻ります。



空気抜き完了



- 薬液が目や皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。洗い流した後、違和感等があれば医師等に相談してください。
- 空気抜きが不十分な場合、注射量に影響することがあります。
- 注射針側を上に向けて空気抜きを行わないと、空気がうまく抜けないことがあります。
- 薬液が注射針取付け部のまわりに付着した場合は、注射が終わって注射針を取り外した後、清潔な乾いた布等で拭き取ってください。

本製品について

保守点検

ご使用の前後には、グロウジェクター Duo や専用充電台の点検を行ってください。

■ 日常点検

- ① 使用前：外観を確認し、汚れや破損がないか確認してください。
- ② 使用中：正常に動作をしているか確認してください。
- ③ 使用后：次回に備えて、汚れや破損がないか確認してください。

■ 普段のお手入れ

本体の外側を清潔な乾いた布で拭いてください。

■ 月に一度のお手入れ

本体及び専用充電台の充電端子を清潔な乾いた布で軽く拭いてください。
(汚れていると充電できなかつたり、充電時間が長くなつたりします) 専用AC/DCアダプターの電源プラグも清潔な乾いた布で拭いてください。

■ 汚れがひどいとき

汚れがひどい場合は、やわらかい布に水または薄めた中性洗剤をしみこませ、よく絞った状態で拭いてください。

■ 次のものは使わない

石油/みがき粉/シンナー/ベンジン/ワックス/熱湯/せっけん/アルコール等を使うと、変色・変質等のおそれがあります。

注意

- 本体の電源を切ってからお手入れを行ってください。
- アダプター本体をコンセントから抜いてお手入れを行ってください。
- 布が充電端子にひっかかったときは、無理に引っ張らないでください。
(充電端子が変形すると充電できないおそれがあります)
- 洗浄や消毒のために水洗いをしたり、消毒薬等の液体に浸したりしないでください。
- 本体を無理に押ししたり分解したりしないでください。

保管

- 薬を取り付けた本体は、必ず冷蔵保存ケースに入れて冷蔵庫の凍結しない場所で保存してください。
- 薬を取り付けていない本体は、冷蔵保存ケースに入れて一般的な生活環境（温度：10℃～38℃）の清潔な場所で保管してください。直射日光の当たる場所や車内等の高温になるおそれのある場所では保管しないでください。
上記同様に、冷蔵庫の凍結しない場所で保管しても問題ありません。
- 使用していない薬は、包装箱に入れたままの状態 で冷蔵庫の凍結しない場所で保存してください。
- 子どもや他の人の手の届かない場所で保管してください。

注意

- 注射針を取り付けたまま保管しないでください。

耐用期間

- グロウジェクター Duoの耐用期間は、初期設定の日から2年間です。交換時期が近づいて来ましたら医師等に相談してください。
- 耐用期間が過ぎた場合や使用を中止する場合は、専用充電台や専用AC/DCアダプター等を含むグロウジェクター Duo一式を医療機関に返却する等、医師等の指示に従ってください。一般廃棄はしないでください。
- 使用済みの注射針、消毒用アルコール綿及び薬は、医師等の指示に従って、安全に廃棄してください。

危険

- グロウジェクター Duoにはリチウムイオン電池を内蔵しています。誤って火の中へ投入したり加熱したりすると、発熱・発火・破裂の原因となります。

本製品について

EMC

グロウジェクター Duoは、在宅医療環境（屋内）での使用を意図し、IEC 60601-1-2:2014 A1:2020「医用電気機器—第 1-2 部：基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項—副通則：電磁妨害—要求事項及び試験」への適合が確認されています。

■ エミッション

適合規格	適合グループ及びクラス
伝導性及び放射RFエミッション CISPR 11	グループ 1, クラス B

■ イミュニティ

適合規格	試験レベル
静電気イミュニティ IEC 61000-4-2	接触：± 8 kV 気中：± 2 kV、± 4 kV、± 8 kV 及び ± 15 kV
放射RF電磁妨害イミュニティ IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80 % 振幅変調 (1 kHz)
RF無線通信機器からの近接電磁界に対するイミュニティ IEC 61000-4-3	51 ページ参照
電気的ファストトランジェント バーストイミュニティ IEC 61000-4-4	± 2 kV 繰返し周波数：100 kHz
サージ IEC 61000-4-5	ライン-ライン間：± 0.5 kV、± 1 kV
RF電磁界によって誘発する伝導妨害イミュニティ IEC 61000-4-6	0.15 MHz ~ 80 MHz：3 V 0.15 MHz ~ 80 MHz の間のISM帯域及びアマチュア無線帯域：6 V 80 % 振幅変調 (1 kHz)
定格電源周波数磁界イミュニティ IEC 61000-4-8	30 A/m 50 Hz、60 Hz
電圧ディップ、短時間停電及び電圧変動 IEC 61000-4-11	0 % Ut 0.5 周期：位相角 0°、45°、90°、135°、180°、225°、270° 及び 315° 0 % Ut 1 周期 及び 70 % Ut 25/30 周期：単相位相角 0° 0 % Ut 250/300 周期
9 kHz ~ 13.56 MHz の近接磁界に対するイミュニティ IEC 61000-4-39	30 kHz CW (無変調) 8 A/m 134.2 kHz パルス変調 2.1 kHz 65 A/m 13.56 MHz パルス変調 50 kHz 7.5 A/m

■ RF無線通信機器からの近接電磁界に対するイミュニティ

試験周波数 (MHz)	帯域 (MHz)	サービス	変調	試験レベル (V/m)
385	380 ~ 390	TETRA 400	パルス変調 18 Hz	27
450	430 ~ 470	GMRS 460 FRS 460	FM ± 5 kHz 偏差 1 kHz Sine	28
710	704 ~ 787	LTE 帯域 13, 17	パルス変調 217 Hz	9
745				
780				
810	800 ~ 960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE 帯域 5	パルス変調 18 Hz	28
870				
930				
1,440	1,429 ~ 1,453	LTE 帯域 21	パルス変調 217 Hz	9
1,720	1,700 ~ 1,990	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE 帯域 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 217 Hz	28
1,845				
1,970				
2,450	2,400 ~ 2,570	Bluetooth WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE 帯域 7	パルス変調 217 Hz	28
5,240	5,100 ~ 5,800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217 Hz	9
5,500				
5,785				

本製品について

お使いになる前に

操作方法

トレーニングモード








安全上のご注意

その他

仕様

電源	グロージェクター Duo	内部電源機器：直流 3.6 V 670 mAh (充電機：リチウムイオン二次電池)
	専用 AC/DC アダプター	国内専用：入力 交流 100 V 50/60 Hz 0.2 A 出力 直流 5 V 1 A
形状 及び 寸法	グロージェクター Duo	セーフティーシールドが出ている状態： W 42 mm × D 32 mm × L 171 mm セーフティーシールドが押し込まれた状態： W 42 mm × D 32 mm × L 160 mm
	専用 AC/DC アダプター (DCコード)	W 28 mm × D 45 mm × L 57 mm (L 1200 mm)
	専用充電台	W 68 mm × D 70 mm × L 75 mm
	冷蔵保存ケース	W 65 mm × D 44 mm × L 187 mm
質量	グロージェクター Duo	165 g
	専用 AC/DC アダプター	77 g
	専用充電台	90 g
	冷蔵保存ケース	190 g
使用/充電/保管時の 環境条件 (開梱後)	使用温度： 5 °C ~ 38 °C (但し充電時：10 °C ~ 35 °C) 保管温度： 0 °C ~ 38 °C (但し凍結しないこと) 湿度： 10 %RH ~ 90 %RH (但し結露しないこと) 気圧： 700 hPa ~ 1060 hPa	
輸送/保管時の環境状況 (梱包状態)	温度： 0 °C ~ 50 °C 湿度： 10 %RH ~ 90 %RH (但し結露しないこと)	
無線通信規格	Bluetooth v5.0 Low Energy 周波数帯：2,402 MHz ~ 2,480 MHz 変調：GFSK 出力：2.2 mW 帯域幅：2 MHz	

■ 使用している記号の説明

記号	説明	使用場所
	B形装着部	グロージェクター Duo
	電源ボタン	
	クラスⅡ機器	専用AC/DCアダプター
	屋内使用専用	
	通知	グロージェクター Duo (ディスプレイに表示)
	取扱説明書確認	専用充電台
	誤った使い方をしたときに生じる 危害や損害の程度の区分	取扱説明書(本書)

注射量の自動計算

グロージェクト皮下注12mg、またはグロージェクト皮下注6mgの残量を余さないよう、最終回の注射量と初回の注射量を自動で調整します。

■ 残量が半分以下のとき

最終回の注射で「設定値と残量」が注射されます。新しい薬に交換した初回の注射で「設定値から残量を引いた注射量」を注射します。

■ 残量が半分より多いとき

最終回の注射で「残量」が注射されます。新しい薬に交換した初回の注射で「設定値と最後の注射の不足分」を注射します。




- 注射量の調整により、同じ種類の新しい専用製剤を取り付けたときに注射の残回数が異なる場合があります。
- 注射量を変更した場合、残量に変更後の注射量の半分に満たなければ薬の残量の表示が0回となり、薬の交換が必要です。







お知らせ表示

お知らせ内容やエラーが発生した場合に、ディスプレイにその内容が表示されます。「内容と対応」を確認し操作してください。

注意

- 本体に注射針が取り付けられている場合は、針刺し事故に十分気を付け、針ケースを取り付けてから行ってください。
- 表示された「お知らせ表示」によっては、【電源ボタン】を押しても電源が切れない場合があります。操作を完了してから電源を切ってください。
- 正しく操作しても動作しない場合は、**“グロウジェクトお客様相談窓口”** (フリーコール：0800-888-4001) (裏表紙) までご連絡ください。

表示	内容と対応
 空気抜きを してください 了解	空気抜きが行われていません。 →空気抜きを行ってください。
 これ以上は 空気抜きが できません 了解	空気抜き回数が8回を超えたので、空気抜き動作が停止しました。 【決定ボタン】を押すと、ディスプレイがホーム画面または「カバークローズ」に切り替わります。 空気抜き回数が8回を超えても、空気抜きが不十分な場合は、“グロウジェクトお客様相談窓口” (裏表紙) までご連絡ください。
 使用期限切れ 新しい薬に交換 してください 了解	薬の使用期限は、薬の交換後、最初の空気抜きを行った日から35日です。 →薬の残量にかかわらず、“薬の交換” (26ページ) に従って、新しい薬に交換してください。

表示	内容と対応
 <p>残量無し 新しい薬に交換 してください</p> <p>了解</p>	<p>薬の残量が無くなりました。 ➔新しい薬に交換してください。</p>
 <p>薬を取り付けて ください</p> <p>了解</p>	<p>薬が取り付けられていません。 ➔新しい薬を取り付ける場合は、ホーム画面で「薬の交換」を選択して取り付けてください。 一時的に取り出した薬を取り付ける場合は、ホーム画面で「メニュー」→「一般」→「ドアオープン」を選択して取り付けてください。</p>
 <p>エラー 新しい薬に交換 してください</p> <p>了解</p>	<p>空気抜き、または注射中に不正な電源オフが発生し、薬が使えなくなりました。 ➔了解（【決定ボタン】）を押すと自動的にドアが開きますので、新しい薬に交換してください。</p>
 <p>使用中の薬では ありません</p> <p>了解</p>	<p>ドアオープンし薬を一時的に取り出した後、未使用の薬等、元々取り付けていた薬と異なる薬が取り付けられました。 ➔了解（【決定ボタン】）を押すと自動的にドアが開きますので、使用中の薬を取り付けてください。</p>
 <p>ドアを 閉じましょう</p>	<p>ドアが開いている状態で電源を入れました。 ➔ドアを閉めてください。</p>
 <p>ドアから手を 放しましょう</p>	<p>ドアが開きません。 ➔ドアから手を放すか、ドア周辺に障害物等があれば除去してください。</p>

お知らせ表示






お使いになる前に


操作方法

トレーニングモード

安全上のご注意

その他

表示	内容と対応
 ドアオープン を 中断しました 了解	薬の交換中・ドアオープン中に本体が専用充電台にセットされたため、ドアオープンを中断しました。 →本体を専用充電台から離して、【決定ボタン】を押してください。
 注射針を 確認しましょう	注射中に異常が発生しました。注射針のつまりや、注射針が正しく取り付けられていない可能性があります。 →本体を皮膚から離れた後に新しい注射針に交換して、再度注射を行ってください。
 注射針を 確認しましょう 了解	注射中または空気抜き中に異常が発生しました。注射針のつまりや、注射針が正しく取り付けられていない可能性があります。 →【決定ボタン】を押した後新しい注射針に交換して、ホーム画面の「注射」または「空気抜き」から再度行ってください。繰り返し表示が出る場合は、医師等にご連絡ください。
 日時を設定 しましょう 了解	日時の情報がリセットされました。 →【決定ボタン】を押した後、画面の案内に従って現在の日時を設定してください。現在の日時において、本体の耐用期限切れ及び薬の使用期限切れの場合はその内容が表示されます。 必ず正しく現在の日時を設定してください。誤った日時を設定すると本体の耐用期限及び薬の使用期限が正しく計算されません。
 その日時は 設定 できません 了解	日時を設定中に設定できない日時が入力されました。 →【決定ボタン】を押した後、画面の案内に従って現在の日時を設定してください。

表示	内容と対応
 充電不足です 了解	充電不足です。 ➡ホーム画面で「メニュー」→「一般」→「ドアオープン」を選択して薬を取り出してから、「 充電方法 」(20ページ)をご参照のうえ、専用充電台にセットして充電してください。
 充電中です	充電中です。 ➡充電中に「注射」「空気抜き」「薬の交換」「ドアオープン」を選択した場合に表示されます。これらの操作は充電中は禁止していますので無効です。
 充電中は薬を取外し しましょう 了解	本体に薬を取り付けたままで充電を行っています。 ➡ドアオープンの操作により薬を取り出してから、再度専用充電台にセットして充電してください。 “ ドアオープン ” (31ページ)をご参照ください。
 温度上昇により 充電が中断 されました 了解	薬を取り付けた状態で充電を行ったときに、薬の温度上昇を防止するため充電動作が中断されました。 ➡時間をおいて再度充電するか、涼しい別の場所で再度充電してください。
 エラー 充電が中断 されました 了解	充電中に何らかの異常を検知し、充電動作が中断されました。 ➡電源オフ後、再度専用充電台にセットして充電してください。繰り返し表示される場合は、“ グロウジェクトお客様相談窓口 ” (裏表紙)までご連絡ください。
 ペ어링に 失敗しました 了解	スマートフォンとのペ어링に失敗しました。 ➡スマートフォンが「めろん日記®」に対応していること、そしてスマートフォンが本体の近くにあることを確認してください。 または、スマートフォンが搭載しているBluetoothのバージョンが4.2以上であることを確認してください。

お知らせ表示

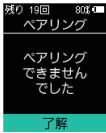





お使いになる前に

操作方法

トレーニングモード

安全上のご注意

その他

表示	内容と対応
 <p>残り 19回 80% ペアリング ペアリング できません でした 了解</p>	ペアリング中に【決定ボタン】が押された、または、パスキーが表示されて30秒以上経過したため、ペアリングを停止しました。 →“ペアリング”(38ページ)をご参照のうえ、ペアリングを行ってください。
 <p>初期化 してください 了解</p>	本体とペアリング済みのスマートフォンで、ペアリング情報を削除した後、本体がBluetooth接続を開始したため、ペアリングを停止しました。 →“初期化”(39ページ)をご参照のうえ、初期化を行ってください。
 <p>初期化に 失敗しました 了解</p>	スマートフォンとのBluetooth接続が維持された状態により初期化を停止しました。再度、初期化を行ってペアリング情報を削除する必要があります。 →“初期化”(39ページ)をご参照のうえ、初期化を行ってください。
 <p>低温のため 使えません 了解</p>	機器使用可能温度範囲を下回っており、使用することができません。 →グロージェクター Duoの温度が、使用温度範囲内に戻ってから使用してください。薬の使用については医師等に相談してください。
 <p>高温のため 使えません 了解</p>	機器使用可能温度範囲を超えており、使用することができません。 →グロージェクター Duoの温度が、使用温度範囲内に戻ってから使用してください。薬の使用については医師等に相談してください。
 <p>もうすぐ 本体の 交換時期です 了解</p>	グロージェクター Duoの耐用期間は、初期設定の日から2年間です。残りの期間が3ヶ月以下になると、電源を入れる度に表示されます。 →通常通り使用できますが、耐用期間内に交換できるように医師等に連絡し、期限内に新しいグロージェクター Duoに交換してください。

表示	内容と対応
 <p>本体の交換期限まであと30日</p>	<p>グロウジェクター Duoの耐用期間は、初期設定の日から2年間です。残りの期間が1ヶ月以下になると、電源を入れる度に残り日数が表示されます。</p> <p>➔通常通り使用できますが、耐用期間内に交換できるように医師等に連絡し、期限内に新しいグロウジェクター Duoに交換してください。</p>
 <p>耐用期限切れ医療機関で本体交換が必要です</p> <p>了解</p>	<p>グロウジェクター Duoの耐用期間が終了していますので、電源が入っても使用することはできません。</p> <p>➔直ちに医師等に連絡し、新しいグロウジェクター Duoに交換してください。</p>
 <p>再起動してください</p> <p>了解</p>	<p>一時的に使用することができません。</p> <p>➔本体の状態を確認し（ドアが閉じられていること等）、【電源ボタン】を押して、本体を再起動してください。</p>
 <p>本体異常です医療機関で本体交換が必要です</p> <p>了解 ホーム</p>	<p>使用中に本体異常が発生し、使用することができません。</p> <p>➔「ホーム」を選択するとメニュー内のグレーアウトされていない項目のみ操作可能です。</p> <p>医師等に連絡し、新しいグロウジェクター Duoに交換してください。</p>
 <p>本体異常です医療機関で本体交換が必要です</p> <p>了解</p>	<p>使用中に本体異常が発生し、使用することができません。</p> <p>➔直ちに医師等に連絡し、新しいグロウジェクター Duoに交換してください。</p>

グロウジェクター Duoの操作中、困ったときにご参照ください。

- ディスプレイにお知らせ表示があるときは、“お知らせ表示” (54ページ) をご参照ください。
- 正しく操作しても正常に動作しない場合は、“グロウジェクトお客様相談窓口” (フリーコール：0800-888-4001) (裏表紙) までご連絡ください。

質問	回答
<p>Q1</p> <p>本体の【電源ボタン】を長押ししたが電源が入らない</p>	<p>A1</p> <p>充電が十分でない可能性があります。“充電方法” (20ページ) をご参照のうえ、本体を専用充電台に正しくセットしてください。このときに、本体ランプが点灯 (黄緑色) していることを必ず確認してください。</p>
<p>Q2</p> <p>専用充電台に本体をセットしても、本体ランプが点灯しない。または、点灯してもすぐに消えてしまう。</p>	<p>A2</p> <p>本体ランプは、満充電状態のときは消灯します。満充電の状態ではなく本体ランプが点灯しない場合は、充電端子が汚れている可能性があります。“保守点検” (48ページ) をご参照のうえ、それぞれの充電端子を拭き、再度充電してください。</p> <p>本体が専用充電台へ正しくセットされていないと、充電できない場合があります。本体をしっかりと押し込むように充電台にセットし直してください。また、専用AC/DCアダプターの接続端子を再度接続し直し、専用充電台の接続端子口に確実に差し込まれていることを確認してください。</p>
<p>Q3</p> <p>「これ以上は空気抜きができません」と表示されるまで空気抜きの操作を行ったが、空気がまだ沢山残っている。</p>	<p>A3</p> <p>残っている空気が小さな気泡であれば、気にすることはありません。そのまま使用してください。</p>

質問	回答
Q4 空気抜き時に【注射ボタン】を長押ししたが、薬液が出ない。	A4 薬の中にある空気が多く、1回の空気抜きで空気が抜けなかった可能性があります。針先から薬液が出るまで、再度空気抜きを行ってください。 (空気抜きは、薬交換後8回まで行うことができます) 繰り返し実施しても薬液が出ない場合は、注射針の針詰まりの可能性があります。新しい注射針に交換してください。
Q5 薬液残量や残りの注射回数を確認する方法はあるのか？	A5 確認窓でおおよその薬液残量を確認することができます。 ディスプレイの左上の表示で残り回数を確認することができます。
Q6 注射ができない。	A6 薬は正常に取り付けられていますか？ ➔確認窓から確認してください。 注射針に異常はありませんか？ ➔新しい注射針に交換してください。 注射針は正しく取り付けられていますか？ ➔“カバー（注射針の取付け・取外し）”（15ページ）をご参照のうえ、操作を確認してください。
Q7 薬を本体にセットしたまま落としてしまった。	A7 破損または動作に問題がある場合は、“ グロウジェクトお客様相談窓口 ”（フリーコール：0800-888-4001）（裏表紙）までご連絡ください。

質問	回答
<p>Q8 ディスプレイに「本体異常です」が表示されている。</p>	<p>A8 本体に異常があり、使用することができません。医療機関に相談して、新しいグロウジェクター Duoに交換してください。</p>
<p>Q9 ディスプレイに何も表示されない。</p>	<p>A9 【電源ボタン】を押してもディスプレイに何も表示されない場合は、医療機関に相談して、新しいグロウジェクター Duoに交換してください。</p>
<p>Q10 電源が勝手に切れる。</p>	<p>A10 90秒間ボタン操作が行われなかった場合、自動的に電源が切れます。電源を入れ直して操作を行ってください。</p>
<p>Q11 薬液が外に飛び出し、目の中に入ってしまった。</p>	<p>A11 直ちに水で洗い流してください。それでも目に痛みや違和感がある場合は、医師等にご連絡ください。</p>
<p>Q12 薬液が外に飛び出し、家具等に付着してしまった。</p>	<p>A12 直ちに拭き取ってください。</p>
<p>Q13 薬を本体にセットしたまま充電してしまった。</p>	<p>A13 温度が高い環境下では充電が停止します。“ドアオープン”(31ページ)をご参照のうえ、薬を取り出してから、再度専用充電台にセットして充電してください。 取り出した薬は、冷蔵保存ケースに入れて冷蔵庫の凍結しない場所で保存し、充電完了後に再度取り付けてください。</p>

ライセンス情報

本製品では、以下のソフトウェアを使用しています。

micro-ecc

BSD 2-clause license

Copyright © 2014, Kenneth MacKay
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

グロウジェクトお客様相談窓口

製品に対するお問い合わせや異常時は、
下記グロウジェクトお客様相談窓口にご連絡ください。

フリーコール **0800-888-4001**

オペレーター対応 / 9:00 ~ 22:00
(土・日・祝日・会社休日を除く)

留守番電話対応 / 22:00 ~ 9:00
(翌営業日にご連絡いたします)

携帯電話からの通話もできます。



病気やお薬に関するご質問は、医師等にご相談ください。

製造販売元

PHC株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋3-7-1

© PHC Corporation 2023

販売元

JCRファーマ株式会社

〒659-0021 兵庫県芦屋市春日町 3-19

取扱説明書品番：LDCL080600-3
P1222-3103



LDCL080600-3